

2018年。創立100周年へ



より高品質でグローバルな物流をめざして

(証券コード:9322 東証一部)



2019年3月期 第2四半期 決算説明資料



2018年11月9日

川西倉庫株式会社

1

2019年3月期第2四半期 連結決算の概要

2

2019年3月期 業績予想の概要

2019年3月期第2四半期 連結決算の概要

2019年3月期第2四半期決算は、増収減益で着地

☆ 貨物保管高の増加
(前年同期比8%増加)

☆ 国際物流事業のセグメント利益減少

☆ 災害による損失の計上
(特別損失)

2019年3月期第2四半期決算の概要①

(単位: 百万円、%)

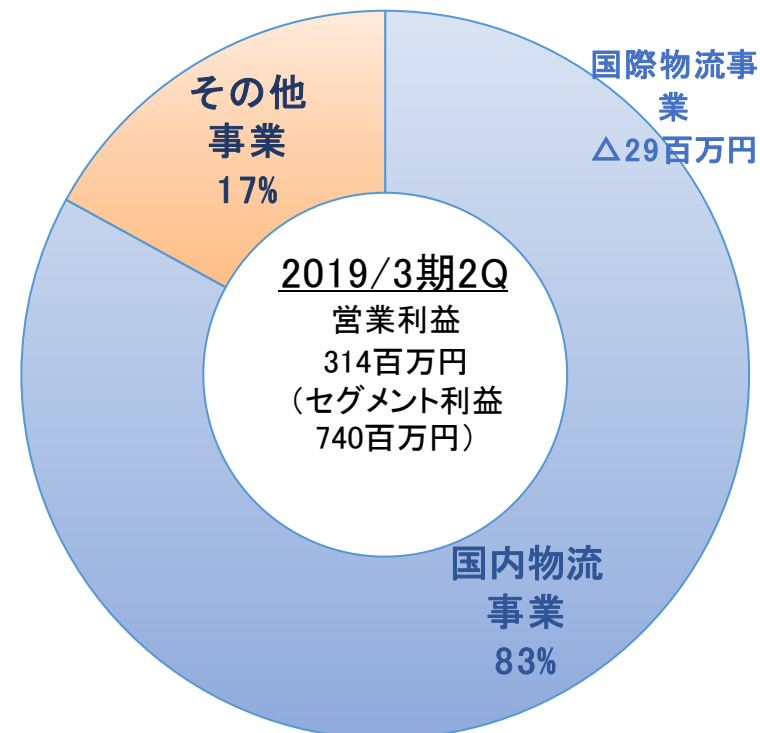
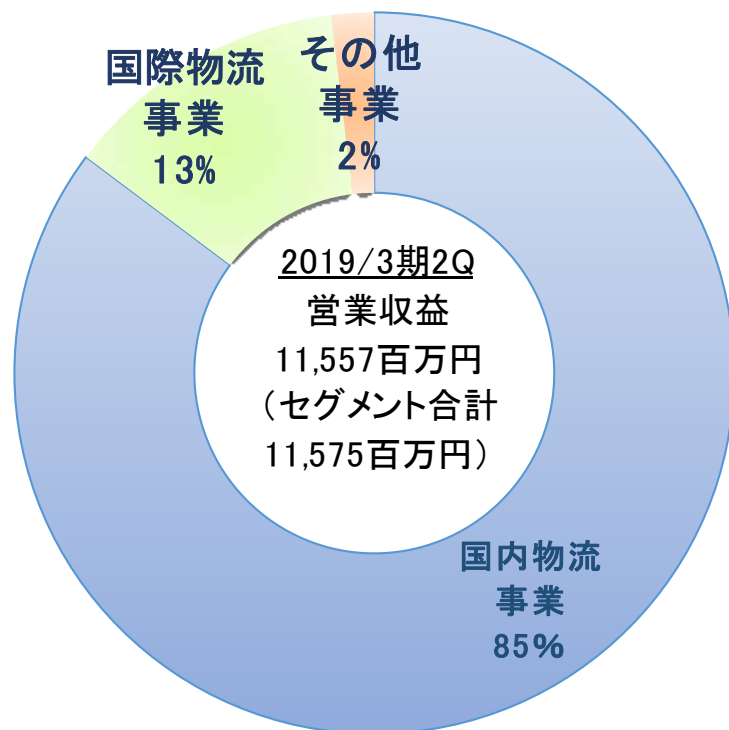
科目	2018/3期 2Q実績		2019/3期 2Q				前年 同期比	予想比
			当初予想		実績			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比		
営業収益	10,982	100.0	11,500	100.0	11,557	100.0	+ 5.2	+ 0.5
営業利益	301	2.7	340	3.0	314	2.7	+ 4.5	△ 7.4
経常利益	370	3.4	360	3.1	335	2.9	△ 9.3	△ 6.7
親会社株主に 帰属する 当期純利益	537	4.9	220	1.9	146	1.3	△ 72.7	△ 33.4

2019年3月期第2四半期決算の概要②

(単位:百万円)

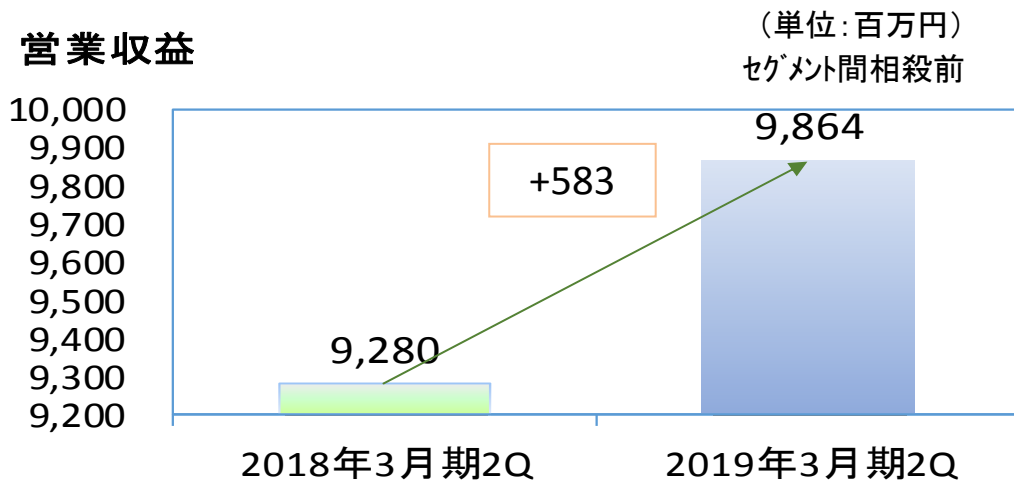
科 目	2018/3期 2Q実績	2019/3期 2Q実績	前年 同期比	増減要因
	金額	金額		
営 業 収 益	10,982	11,557	+ 5.2	貨物取扱高の増加により倉庫業収益が増加。港湾運送業務も堅調に推移。
営 業 利 益	301	314	+ 4.5	大型修繕等により経費は嵩んだが、取扱量の増加もあり利益は増加。
経 常 利 益	370	335	△ 9.3	受取配当金の減少による。
親会社株主に 帰属する 当期純利益	537	146	△ 72.7	投資有価証券売却益の減少、大阪北部地震、台風21号等の影響により災害による損失を計上したことにより大幅減少。

セグメント別実績占率(2019/3期2Q累計)

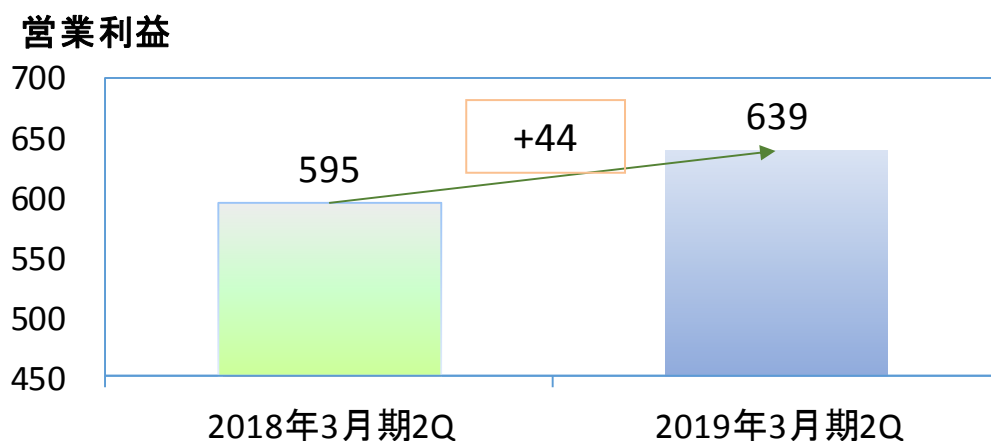


国内物流事業	倉庫業、港湾運送業、貨物運送取扱業、その他物流関連<通関業務、流通加工業務、物流関連施設の賃貸業務>
国際物流事業	国際運送取扱事業、倉庫業(海外)
その他事業	太陽光発電による売電事業、不動産賃貸事業、物流資材の販売

セグメント別実績(国内物流事業)



- ☆ 貨物取扱量の増加
- ☆ 港湾運送業務の増加

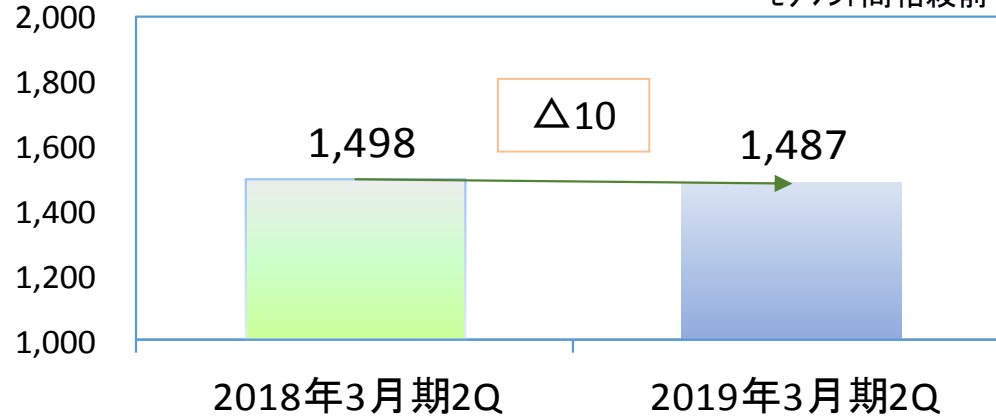


- ☆ 貨物取扱量の増加
- ☆ 港湾運送業務の増加
- ☆ 修繕費等の増加

セグメント別実績(国際物流事業)

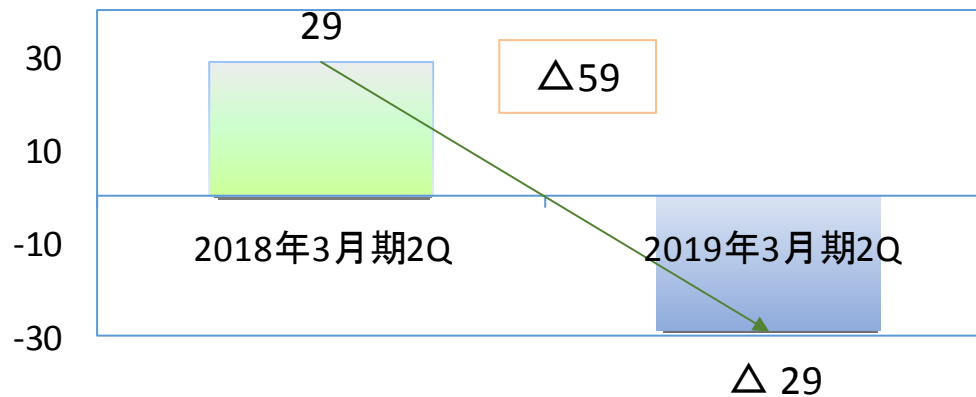
営業収益

(単位:百万円)
セグメント間相殺前



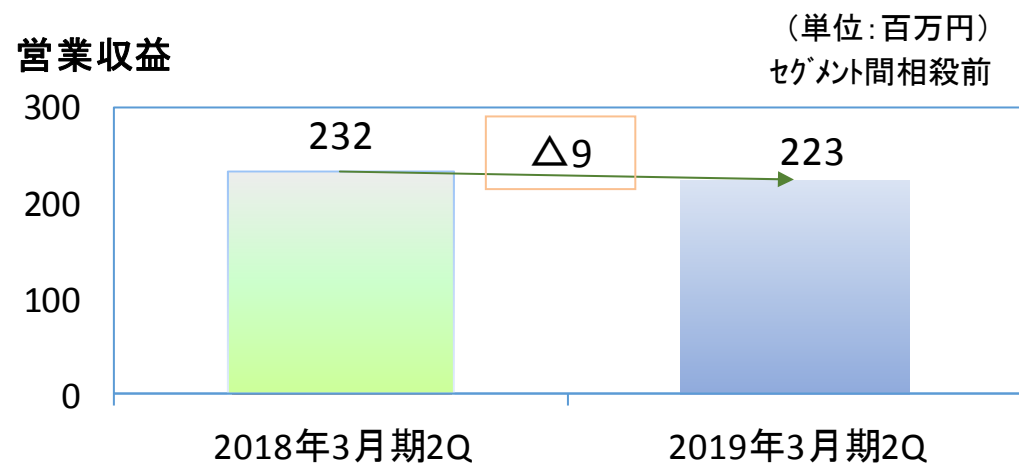
- ☆ 貨物の取扱い減少
- ☆ 海外子会社の業績低迷

営業利益

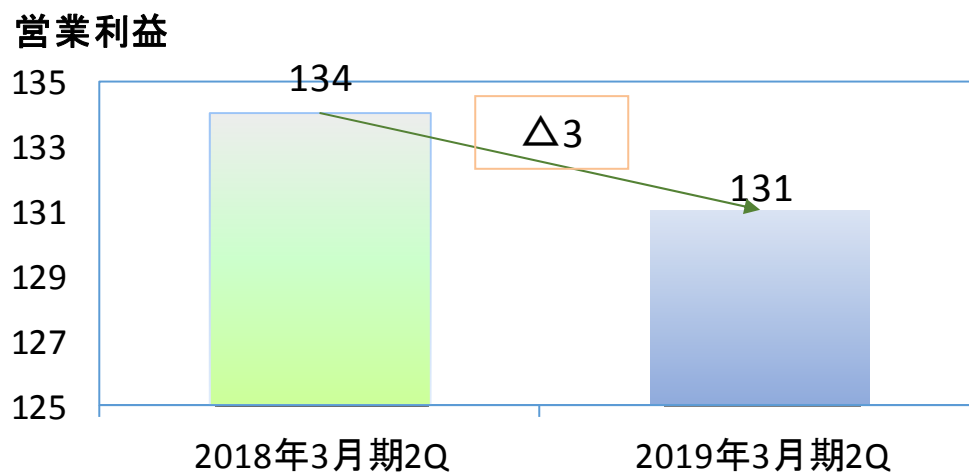


- ☆ インドネシア新倉庫本格稼働による経費の増加
- ☆ 海外子会社の業績低迷

セグメント別実績(その他事業)



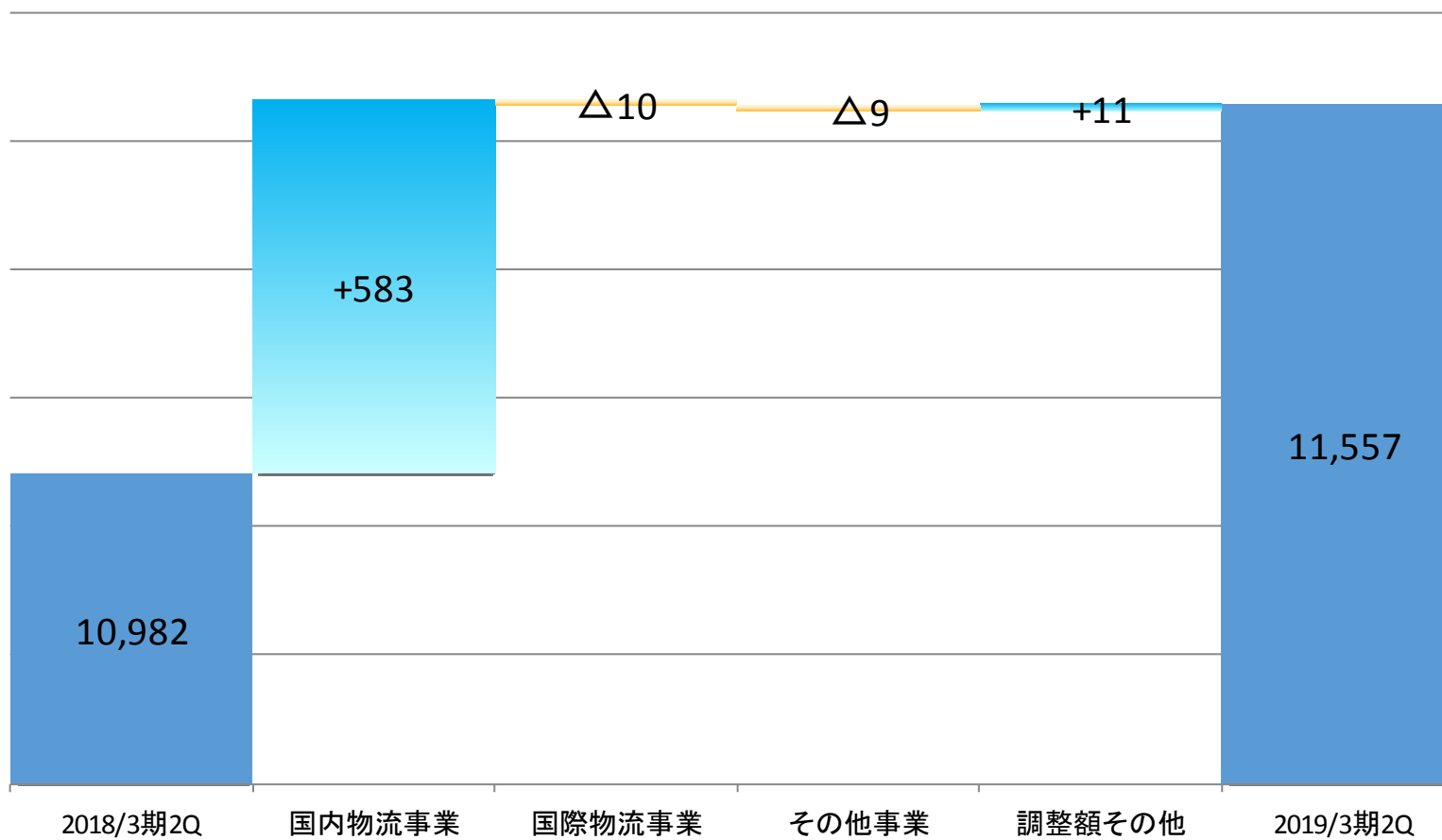
☆ 物流資材販売の減少



☆ 物流資材販売の減少

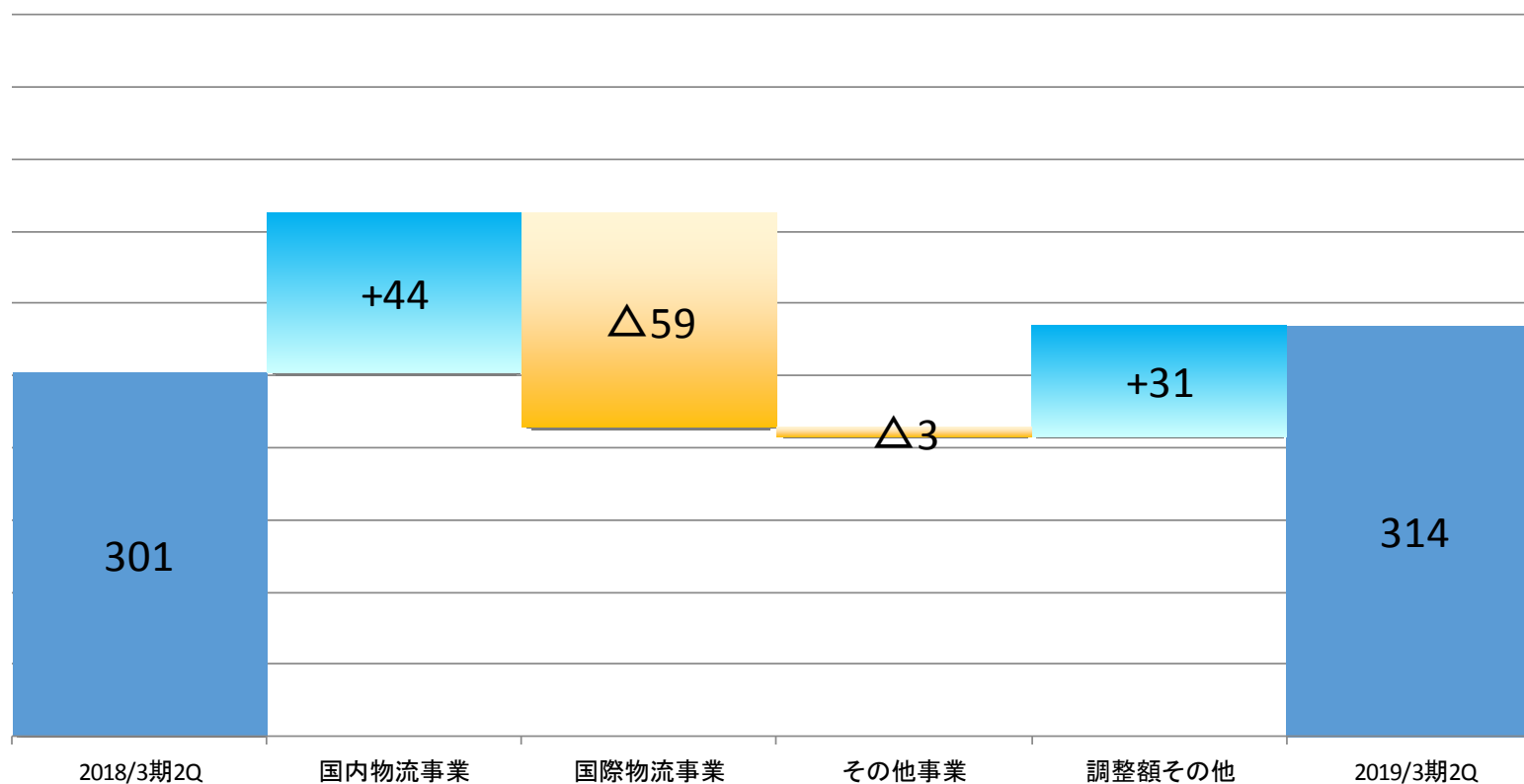
営業収益増減要因

(単位:百万円)



営業利益増減要因

(単位:百万円)



連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	2018/3 期末	2019/3 第2四半期末	前期末比	増減要因
資産の部	28,335	30,440	+ 2,104	
うち現金及び預金	3,155	3,644	+ 488	【増加】借入金 【減少】設備投資、長期借入金の返済
建物及び構築物	7,665	7,933	+ 268	京浜地区倉庫増設
建設仮勘定	218	1,609	+ 1,391	関東新倉庫建設費用計上
投資有価証券	1,187	1,115	△ 72	株価の下落による評価差額の減少
負債の部	10,758	13,051	+ 2,292	
うち短期借入金	992	2,376	+ 1,384	新規借入れによる増加
長期借入金	5,614	6,910	+ 1,296	新規借入れによる増加
純資産の部	17,576	17,389	△ 187	
うち為替換算調整勘定	64	△ 44	△ 108	円高による減少
非支配株主持分	1,063	959	△ 104	円高、海外子会社の業績悪化による減少
自己資本比率	57.4%	54.0%		



連結損益計算書(営業原価、販売費及び一般管理費)



(単位:百万円)

	2018年3月期 2Q	2019年3月期 2Q	前年同期比	増減要因
営業原価	9,614	10,179	+ 565	
うち下払作業費	2,123	2,229	+ 105	取扱量の増加
運送費	4,029	4,210	+ 180	取扱量の増加
再保管料	421	505	+ 83	取扱量の増加
減価償却費	335	376	+ 40	前期稼働新倉庫にかかる 償却費増加
その他	1,057	1,212	+ 154	修繕費等増加
販管費	1,067	1,062	△ 4	
うち給与手当	486	512	+ 25	組織変更等
租税公課	65	34	△ 31	前期発生新倉庫にかかる 租税公課減少



連結損益計算書(営業外損益、特別損益)



(単位:百万円)

	2018年3月期 2Q	2019年3月期 2Q	前年同期比	増減要因
営業外収益	103	46	△ 57	
うち受取配当金	80	22	△ 58	前期増配等が減少
営業外費用	34	25	△ 9	
うち為替差損	4	—	△ 4	当期は為替差益
特別利益	424	2	△ 422	
うち投資有価証券 売却益	408	—	△ 408	前期は株式の売却を実施
特別損失	2	106	+ 104	
うち100周年記念費用	—	22	+ 22	創立100周年にかかる記念 費用
災害による損失	—	81	+ 81	大阪北部地震、台風の影響 による修繕費用等

キャッシュ・フローの状況(前年比較)

(単位:百万円)

	2018年3月期 2Q	2019年3月期 2Q	前年同期比	増減要因
営業活動による キャッシュ・フロー	323	283	△ 39	【増加】売上債権の減少 【減少】当期利益の減少、 法人税等の支払額増加
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,166	△ 2,334	△ 1,168	設備投資の増加、投資有価 証券の売却収入減少
財務活動による キャッシュ・フロー	+ 321	+ 2,592	+ 2,270	新規借入れの増加、借入金 返済額の減少
期中増減額	△ 527	+ 520	+ 1,047	—
期末残高	3,513	3,345	△ 167	—

2019年3月期 業績予想の概要

2019年3月期は営業収益、営業利益の増加見込む

☆ 貨物取扱高が堅調に推移

☆ 国際物流事業の増加（新倉庫含む）

☆ 営業外収益、特別利益の減少
（受取配当金、投資有価証券売却益）

※5月11日公表予想

2019年3月期業績予想の概要

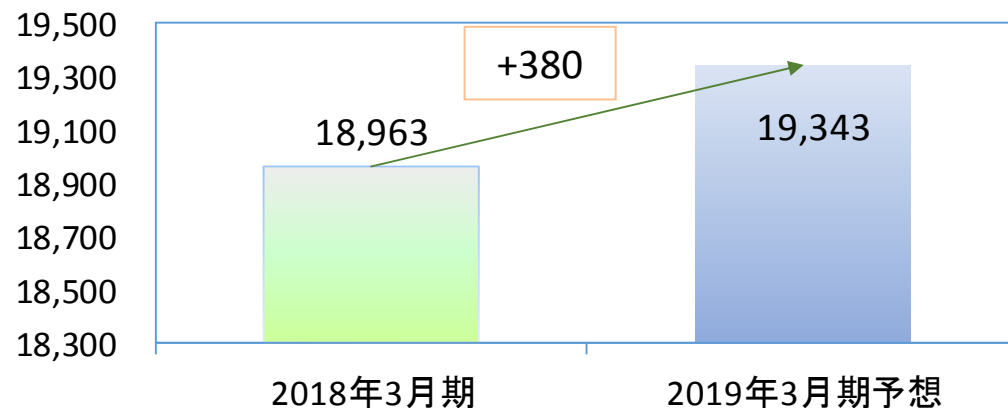
(単位:百万円、%)

科目	2018/3期		※ 2019/3期業績予想		
	金額	構成比	通期予想	構成比	前年比
営業収益	22,343	100.0	23,200	100.0	+ 3.8
営業利益	586	2.6	650	2.8	+ 10.8
経常利益	657	2.9	670	2.9	+ 1.9
親会社株主に 帰属する 当期純利益	487	2.2	440	1.9	△ 9.7

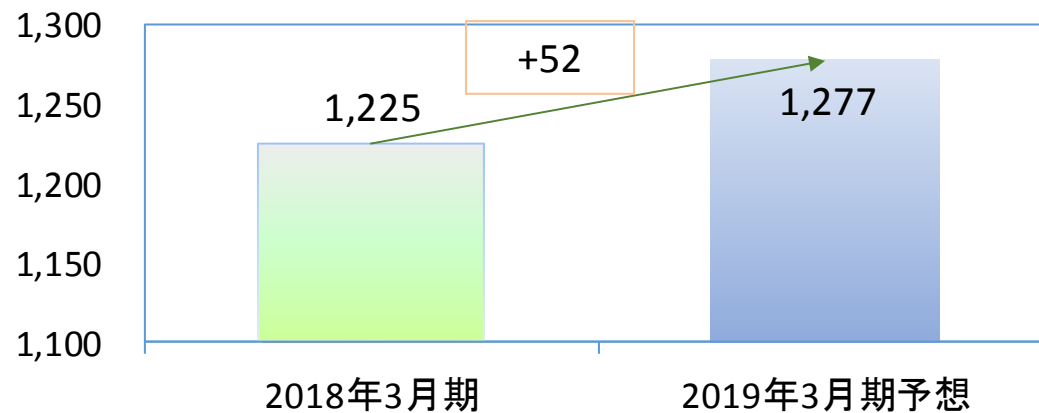
※5月11日公表予想

セグメント別予想(国内物流事業)

営業収益 (単位:百万円) セグメント間相殺前

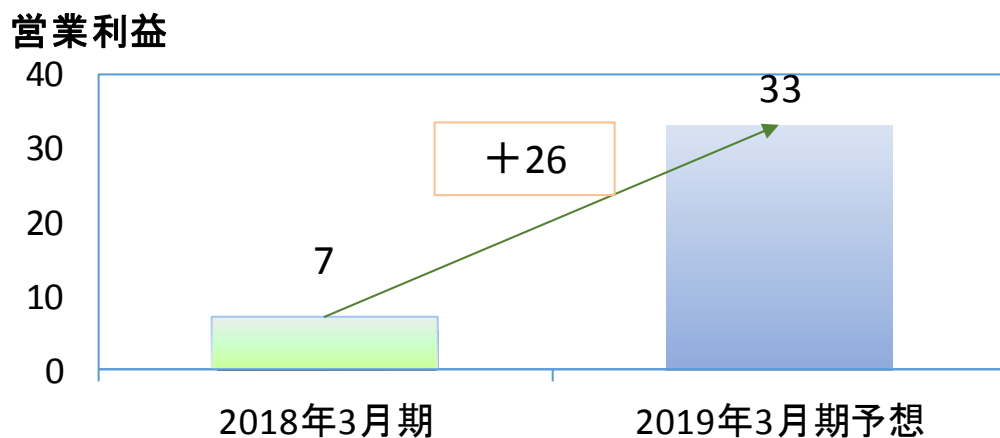
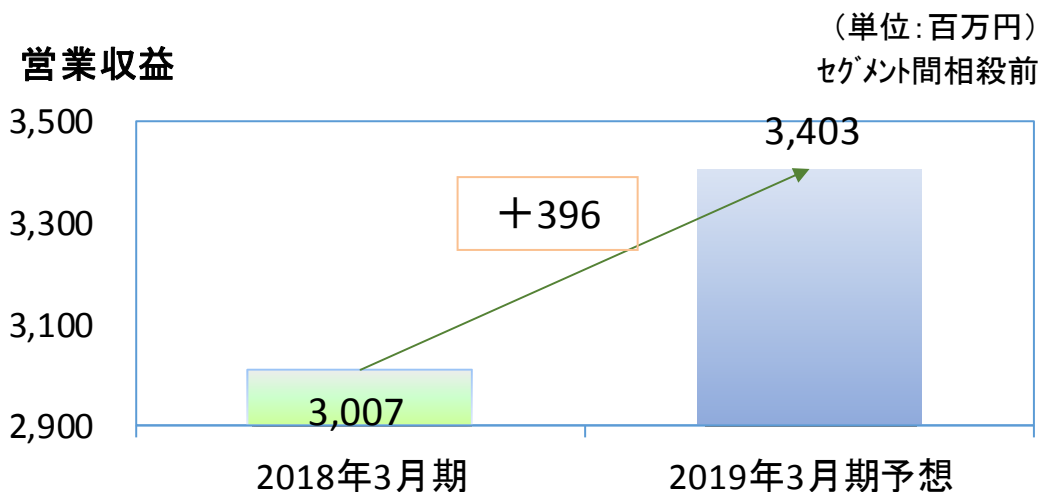


営業利益



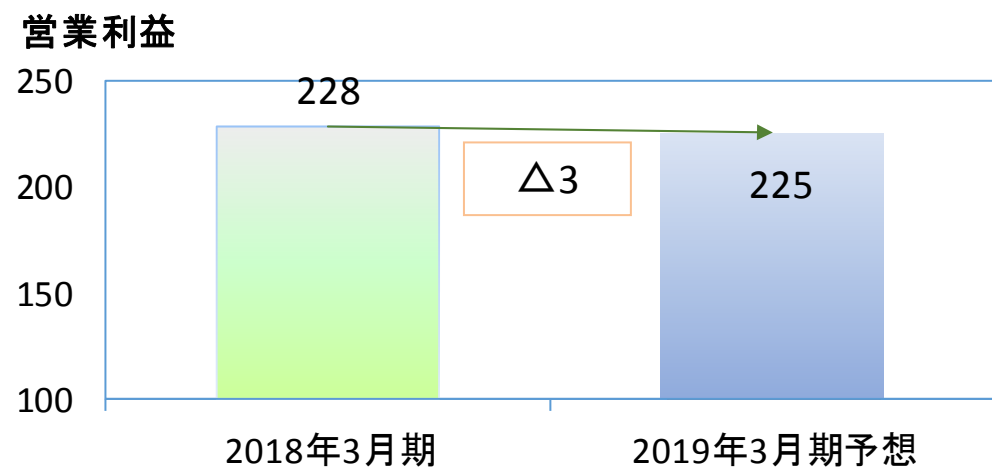
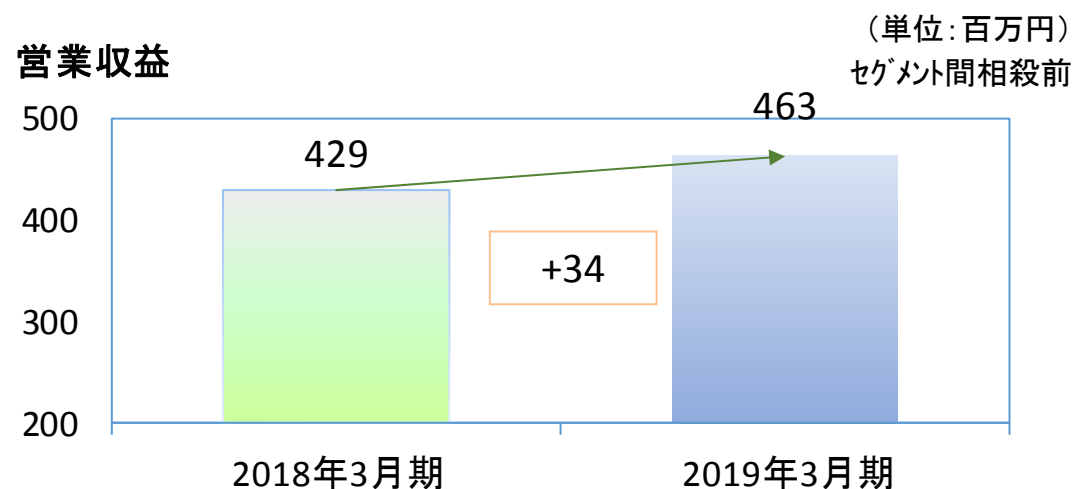
- ☆ 貨物取扱高が堅調に維持
- ☆ 倉庫増設による再保管経費の圧縮

セグメント別予想(国際物流事業)



- ☆ 貨物取扱量の回復
- ☆ インドネシア新倉庫の本格稼働による増加

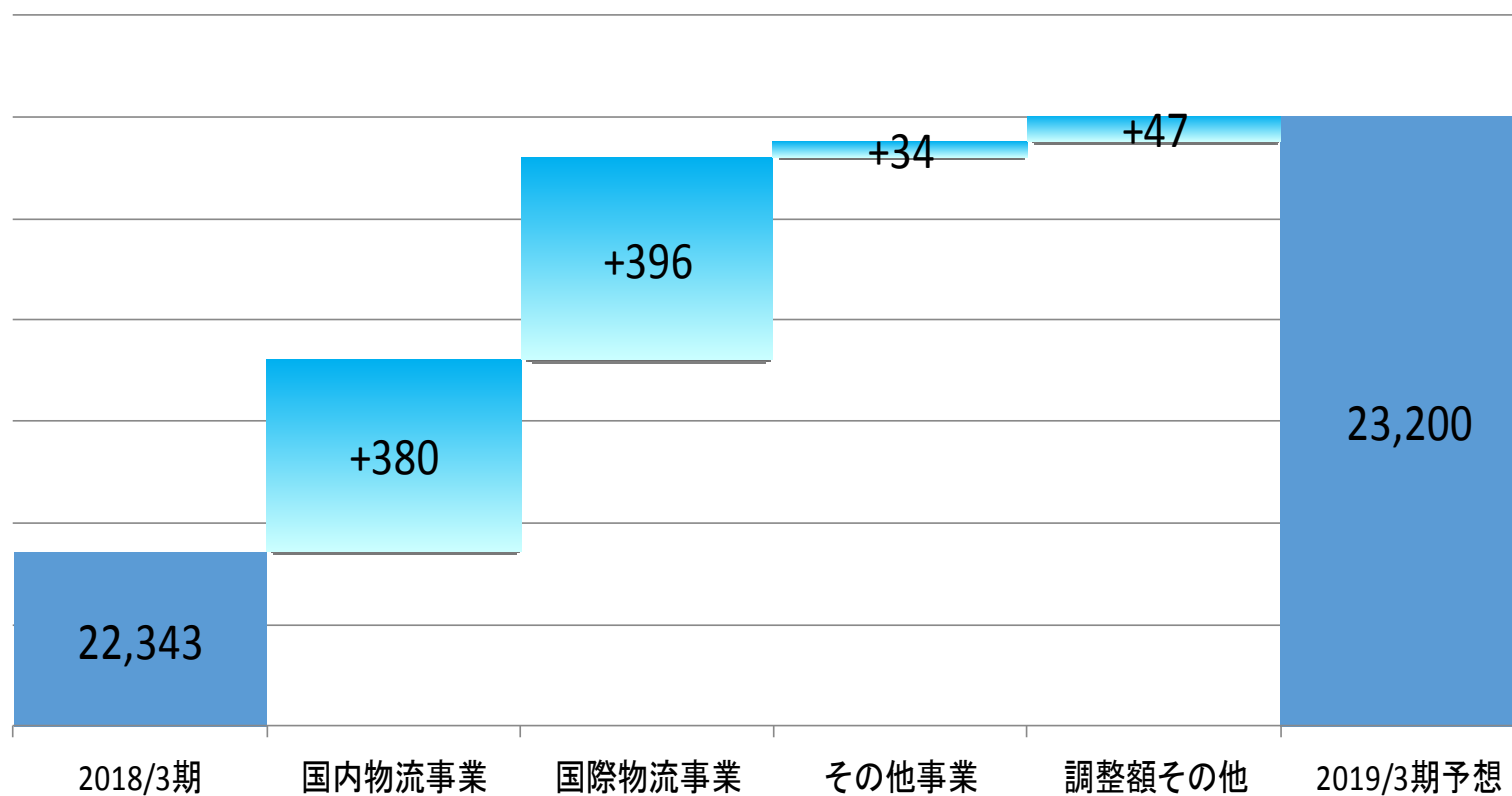
セグメント別予想(その他事業)



☆ 太陽光売電収入、賃貸収入等
について、当期と同程度を予想

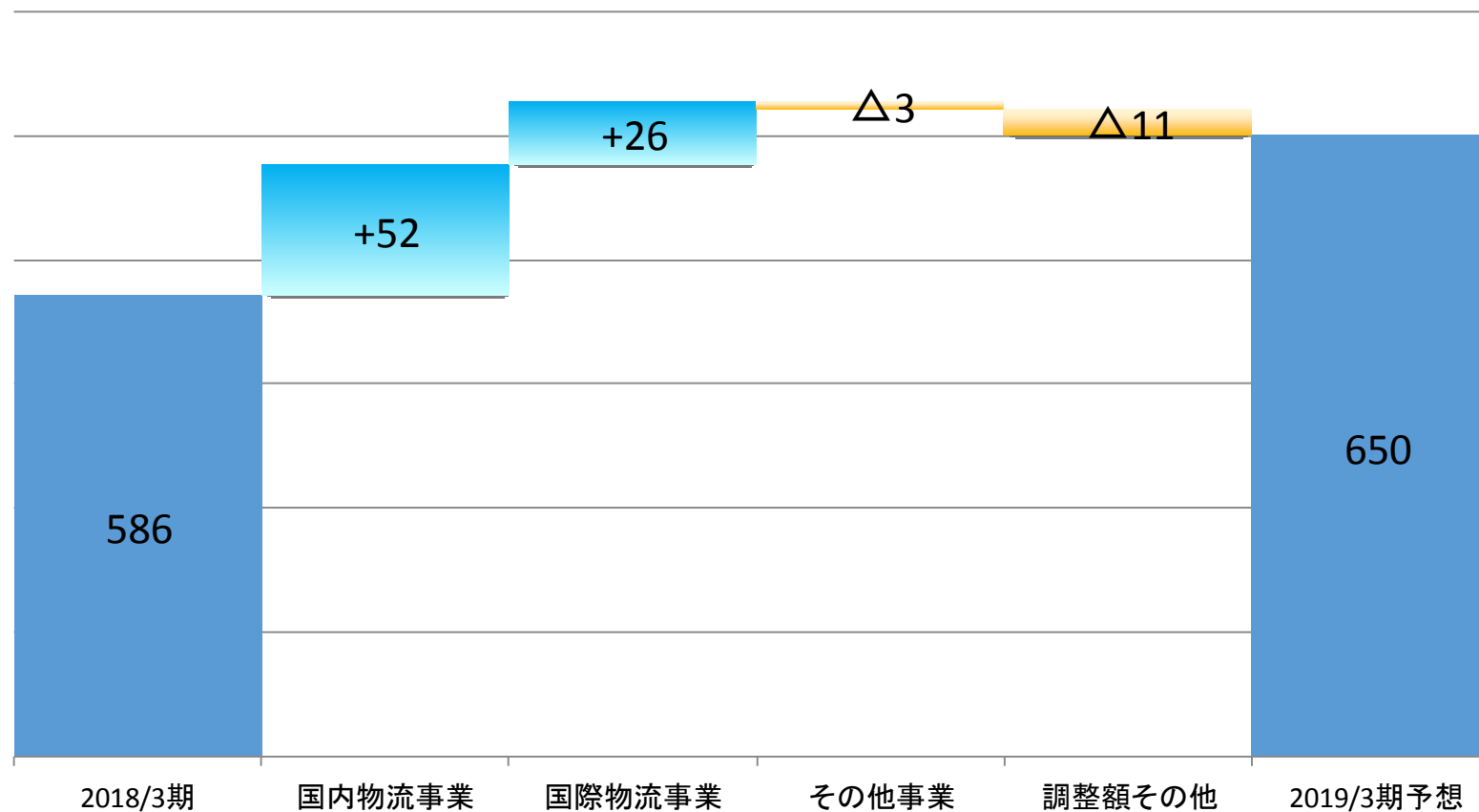
2019/3期営業収益増減要因

(単位: 百万円)



2019/3期営業利益増減要因

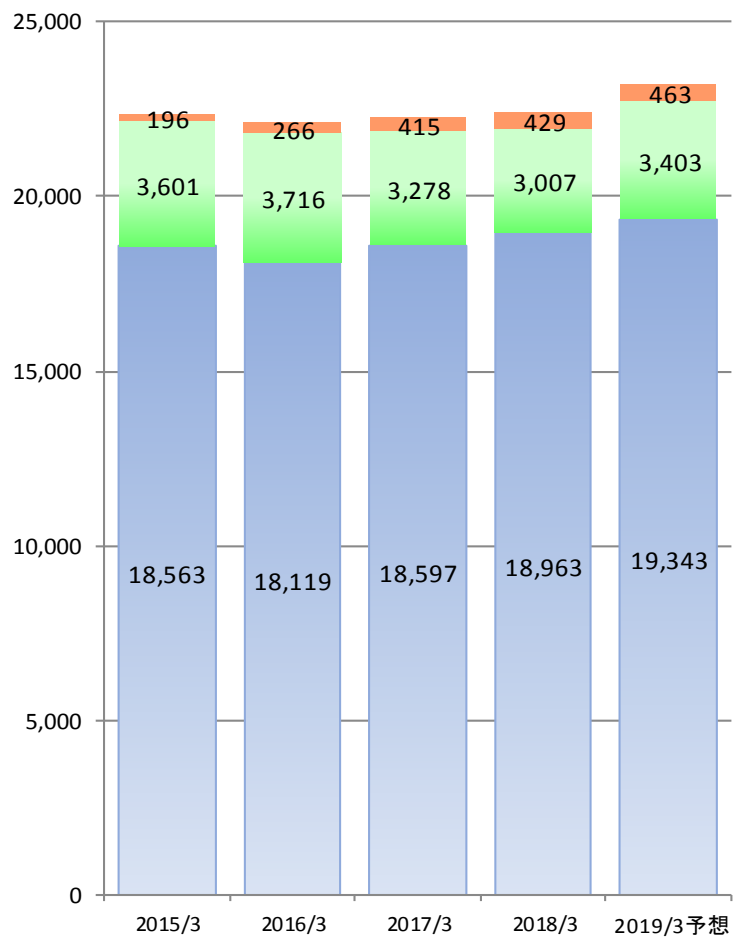
(単位:百万円)



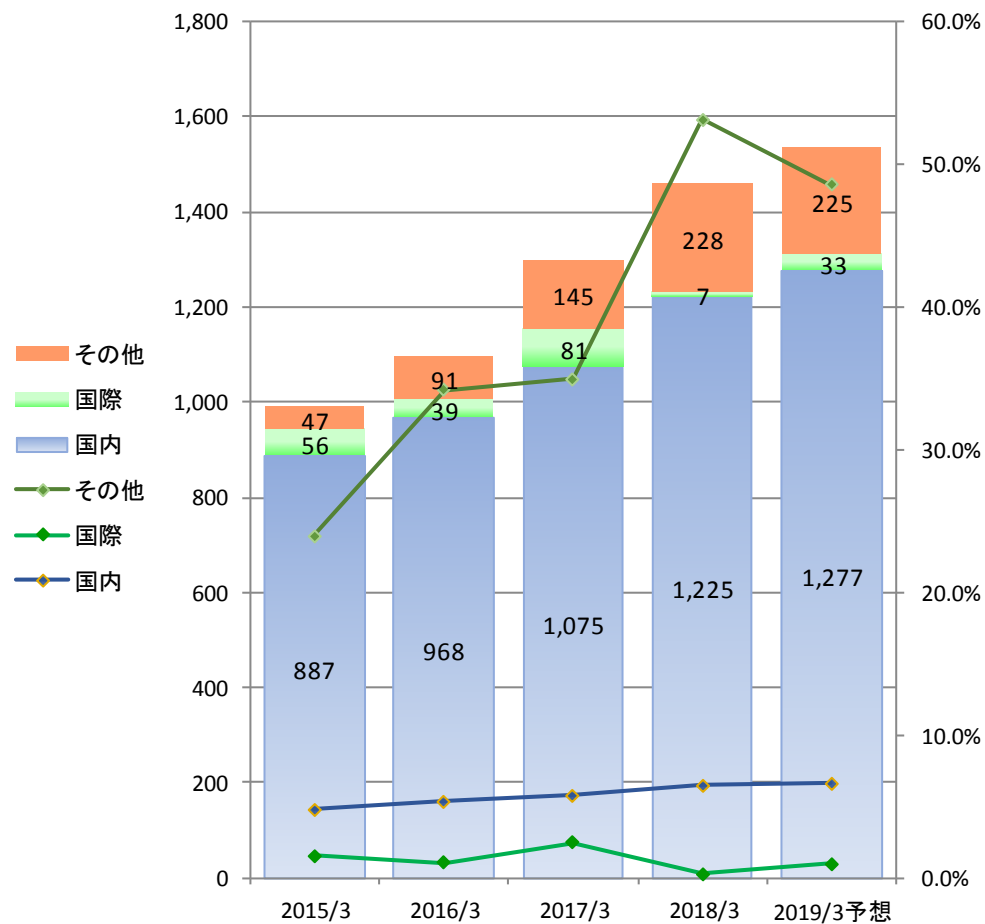
(単位: 百万円、%)

セグメント間相殺前

売上高

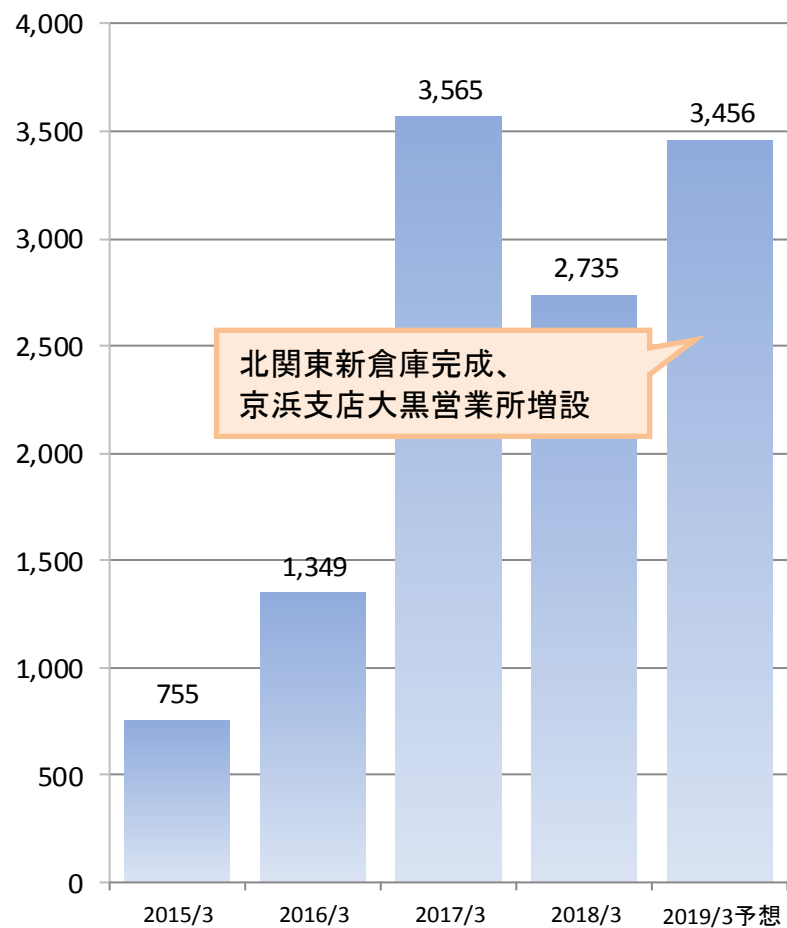


セグメント利益・利益率



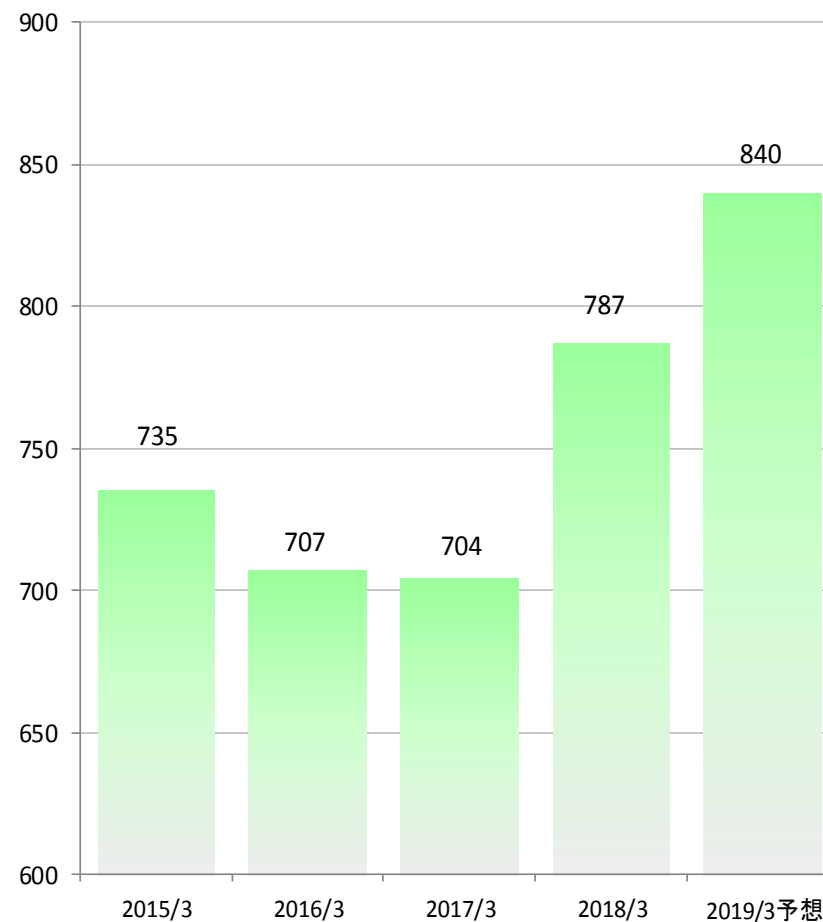
設備投資額

(単位:百万円)



減価償却費

(単位:百万円)



2018年3月期実績: 27億35百万円(完成ベース)

【主な投資内容】

- ・PT KAWANISHI WAREHOUSE INDONESIA 倉庫新設
(2017年10月稼働)
- ・北関東新倉庫建設予定地購入
- ・神戸支店六甲ターミナル営業所テント倉庫 他

2019年3月期計画: 34億円(完成ベース)

【主な投資内容】

- ・北関東新倉庫建設(2019年2月稼働予定)
- ・京浜支店大黒営業所増築
- ・定温設備更新 他

配当実績推移

	2015年度 実績	2016年度 実績	2017年度 実績	2018年度 実績	2019年度 予定
中間配当	4.00円	6.00円	6.00円	8.00円	6.00円
期末配当	6.00円	6.00円	6.00円	8.00円	6.00円
年間	10.00円	12.00円	12.00円	16.00円	12.00円
配当性向	—	33.3%	24.6%	25.0%	20.7%

株主優待

保有株式数	保有期間	基準日	優待内容
100株以上	3年未満	9月末日、3月末日	クオカード 1,000円分
100株以上	3年以上	9月末日、3月末日	クオカード 1,500円分

対象となる株主様

毎年9月末日および3月末日現在の株主名簿に記載または記録された1単元(100株)以上の株式を保有されている株主様

(贈呈時期：毎年12月中旬にお送りする「中間報告書」および6月下旬にお送りする「報告書」とともに発送を予定しております。)

なお、保有期間が3年以上の株主様の優待内容については、平成30年9月末日現在の株主名簿に記載または記録された株主様より適用いたします。



本資料中の業績予想、見通しおよび事業計画についての記述は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、記載された将来の業績を保証するものではありません。